

# 韓米合同軍事演習を中止しろ！ —アメリカ大使館抗議行動へ！

**2月29日** (木) 13時 住友不動産虎ノ門タワー前集合  
(旧JPビル、虎ノ門3番出口より5分)

韓米合同演習が3月4日から11日間にわたって行われます。新聞報道によると「自由の盾(FS: Freedom Shield) 合同演習はコンピュータシミュレーションを利用して進行される」「北朝鮮の核・ミサイルを含む軍事的挑発シナリオを想定して合同防衛態勢を点検する」「多数の野外実機動訓練も行う。FS 合同演習は、師団級合同上陸訓練と20余りの韓米合同野外機動訓練を過去の黒ハゲワシ訓練(FE: Foal Eagle)水準にする計画だ。韓米海兵隊が参加する双竜合同上陸訓練をはじめ、合同科学化戦闘・攻撃ヘリ射撃演習、合同海上哨戒作戦などを行う」とされています。既に海兵隊第1師団は、2月1日から20日まで浦項一帯で今年初めての在沖海兵隊を含む韓米海兵隊KMEP合同演習を実施しています。

これらの動きは、昨年4月の韓米首脳会談で合意された「ワシントン宣言」や、同年8月のキャンプ・デービッドでの日米韓会談で合意された、朝鮮の核・ミサイル強化に対する拡大核抑止体制の画段の強化であり、9.19 南北軍事合意の一部効力の停止、韓米合同軍事演習、及び日米韓合同軍事演習の一段の強化と常態化がすでに行われています。

この動きに対して朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)は、昨年末の朝鮮労働党中央委員会総会拡大会議、及び今年1月の最高人民会議において、韓国に対して、「われわれを『主敵』と宣布する一味を和解と統一の相手と見なすことはできない」「有事には多種の核兵器攻撃で大韓民国を占領、平定、収復するだろう」「大韓民国が我々の領土、領空、領海を0.001ミリでも侵犯するならば、それは即ち戦争挑発とみなされるでしょう」と宣言。米韓、日米韓の拡大核抑止体制の強化の動きに対抗して、固体燃料式の大陸間弾道ミサイル、新型戦術弾道ミサイル、巡航ミサイルの発射訓練を繰り返し、新型潜水艦を進水させています。

米国の朝鮮半島専門家ジグフリートハッカー教授は今の朝鮮半島の状況が「6.25戦争直前くらい危険」とし、「朝鮮が小規模挑発はできるが、現状を維持するという考えに固執するのは致命的」と全面戦争に拡大する危険性を指摘しています。これまで朝鮮半島で1953年以降戦争が起こらなかったからといって緊張が高まっても戦争が起こらないと見てはならない。質的に変化した危機状況を深く認識し闘いの強化が必要です。

朝鮮半島の緊張激化の根本原因は米軍の巨大な軍事力の存在そのものにあります。韓国・沖縄民衆と連帯して米軍と自衛隊を含む軍事基地を一掃しましょう！その第一歩として今春の韓米合同演習に反対しよう！2.29米大使館抗議行動に多くの参加を！



200余の国内外の団体は20日午前、国会本館前会談で記者会見を開き「汎国民・海外同胞の戦争反対平和宣言文」を発表(写真:統一ニュースより)

呼びかけ: 資本主義を超える新しい時代を拓く反戦実行委員会(反戦実)

連絡先: 090-4679-5592 (東風)